



TITLE:

佐藤長博士著作目録

AUTHOR(S):

---

CITATION:

佐藤長博士著作目録. 東洋史研究 1978, 36(4): 1-9

ISSUE DATE:

1978-03-31

URL:

<https://doi.org/10.14989/153678>

RIGHT:

佐藤

長博士著作目錄

單 行 本

古代チベット史研究(上)(三編五〇一頁 東洋史研究叢刊之五之一)  
 古代チベット史研究(下)(三編五五七頁 東洋史研究叢刊之五之二)  
 東 洋 史 研 究 會 昭和三三年 九月  
 東 洋 史 研 究 會 昭和三四年 十月

共 著——共譯・共編

明代西藏史料 明實錄抄(明代滿蒙史料明實錄抄蒙古篇一〇と合本)  
 フウラン・テプテル——チベット年代記——(二五編二三三頁)  
 京都大學文學部 昭和三四年 三月  
 法 藏 館 昭和三九年 五月  
 京都大學文學部内陸アジ  
 ア研究所 昭和四一年 九月

五體清文鑑譯解 下卷——總索引——(二五編六七四頁)  
 京都大學文學部内陸アジ  
 ア研究所 昭和四三年 一月

『騎馬民族史3 正史北狄傳』吐蕃傳(舊唐書・新唐書)譯註(東洋文庫二三八)  
 平 凡 社 昭和四八年 三月

論 說

女 國 と 蘇 毗  
 初代磧西節度使の起源と其の終末(上)——碎葉焉耆更換事情の一考察——  
 初代磧西節度使の起源と其の終末(下)——碎葉焉耆更換事情の一考察——  
 唐蕃會盟碑の研究  
 東洋史研究第六卷第六號 昭和十七年 二月  
 東洋史研究第七卷第六號 昭和十七年十二月  
 東洋史研究第八卷第二號 昭和十八年 六月  
 東洋史研究第一〇卷第四號 昭和二十四年 一月

古代西藏文化の一考察

西藏文獻の史料的价值(上)——吐蕃王統論を中心として——

西藏文獻の史料的价值(下)——吐蕃王統論を中心として——

古代シナの農業と社會

古代西藏の内部構造

チベット語ラサ方言音韻についての覺書

——石濱先生還曆記念論文一四——

吐蕃佛教の史料について

チベット史の樣相

金城公主の入藏について(上)

ティベットの過去と現在

金城公主の入藏について(中)

金城公主の入藏について(下)

チベットの歴史

歴史學 第一輯 昭和二十四年 八月

東洋史研究第一〇卷第六號 昭和二十五年 二月

東洋史研究第一一卷第二號 昭和二十六年 三月

研究(神戸大學文學會)第一號 昭和二十六年十二月

古代學 第一卷第二號 昭和二十七年 四月

東西學術研究所論叢一五 昭和二十九年 九月

東洋史研究第一三卷第五號 昭和三十年 一月

教養東洋史(史學地理學教養書刊行會、柳原書店) 昭和三十年 五月

史林 第三九卷第一號 昭和三十一年 一月

『新講座地理と世界の歴史』アジア篇上(雄渾社) 昭和三十一年 一月

史林 第三九卷第三號 昭和三十一年 五月

史林 第三九卷第四號 昭和三十一年 七月

『アジア史講座』第四卷 昭和三十一年 八月

北アジア(岩崎書店)

吐蕃の長安侵入について

チベット

明の武宗の「活佛」迎請について

チベット古代史研究の一問題

明代チベットの八大教王について（上）

明代チベットのリゴンバ派の系統について

ダルマ王の在位年次について

明代チベットの八大教王について（中）

元末明初のチベット状態

ダルマ王の子孫について

明代チベットの八大教王について（下）

ダヤン・カーンにおける史實と傳承

京都大學文學部研究紀要

4（五十周年記念論集）

昭和三十一年十一月

『北アジア史』世界各國  
史12・付編（山川出版社）

塚本博士頌壽記念佛教史  
學論集

學論集

古代文化 第九卷第一號  
昭和三十七年 七月

東洋史研究第二二卷第三  
號  
昭和三十七年十二月

號

東洋學報第四五卷第四號  
昭和三十八年 三月

史 林 第四六卷第五號  
昭和三十八年 九月

東洋史研究第二二卷第二  
號  
昭和三十八年 十月

號

明代滿蒙史研究——明代  
滿蒙史料研究篇（京都  
大學文學部）

昭和三十八年 十月

大學文學部）

東洋學報第四六卷第四號  
昭和三十九年 三月

東洋史研究第二二卷第四  
號  
昭和三十九年 三月

號

史 林 第四八卷第四號  
昭和四十年 七月

吐蕃王の夏牙悶懼盧川について  
中國史における南と北

The Altaic Study and the Studies of the Neighboring Peoples:

*Proceedings of the Conference of Junior Altaists on*

*International Cooperation for Manchu and Mongol Studies,*

*July 3—9, 1966, Institute for Inland Asian Studies, Kyoto,*

*Japan.*

バグモドゥ王朝の衰退過程

モンゴル帝國の推移

倭の五王とその祖先について

チベット民族の統一とラマ教の成立

内陸アジアと清朝

ロブザンダンジンの反亂について

近世青海諸部落の起源(上)

古代文化第一五卷第二號 昭和四十年 八月

『世界歴史』第四卷第二 昭和四十年 十月

部(人文學院)

田村博士頌壽東洋史論叢 昭和四三年 五月

『世界歴史シリーズ』12 昭和四四年 二月

(世界文化社)

史 林 第五三卷第五號 昭和四五年 九月

岩波講座『世界歴史』6 昭和四六年 一月

「内陸アジア世界の形成」總説(岩波書店)

岩波講座『世界歴史』13 昭和四六年 五月

「内陸アジア世界の展開」總説(岩波書店)

史 林 第五五卷第六號 昭和四七年十一月

東洋史研究第三二卷第一 昭和四八年 六月

號

近世青海諸部落の起源（下）

唐代青海東邊の諸城塞について——『玉樹縣志稿』の紹介を兼ねて——

唐代における青海・ラサ間の道程

The Route from Kokonor to Lhasa during the T'ang Period

河西九曲の地について

「吐蕃」・「羊同」などの名稱について

隋の煬帝の吐谷渾征討路について

チベット

『水經注』にあらわれた大夏河について

吐蕃と東トルキスタン

チベットの噶爾招木倫江について

東洋史研究第三二卷第三號 昭和四八年十二月

史林 第五八卷第五號 昭和五十年五月

東洋史研究第三四卷第一號 昭和五十年六月

*Acta Asiatica*, 29 昭和五十年

東洋學報第五七卷一・二號 昭和五十一年一月

東洋史研究第三五卷第一號 昭和五十一年六月

江上波夫教授古稀記念論集歷史篇 昭和五二年五月

世界歴史の基礎知識(2) (有斐閣) 昭和五二年六月

鷹陵史學 第三・四號 昭和五二年七月

シルクロード昭和五三年 昭和五三年三月

二・三月合併號

内田吟風博士頌壽記念論集 昭和五三年三月

# 批評・紹介

乾燥アジア文化史論(松田壽男・小林元著)

奉天と遼陽(鷲淵一著 富山房『支那歴史地理叢書』六 昭和十五年)

蒙古學報 創刊號

蒙古喇嘛教史(ジクメ・ナムカ著、外務省調査部譯 生活社 昭和十五年)

西藏・蒙古喇嘛教史(橋本光賢編 蒙藏典籍刊行會 昭和十五年)

忽必烈汗(愛宕松男著 富山房『支那歴史地理叢書』一〇 昭和十六年)

チベット(多田等觀著 岩波書店『岩波新書』91 昭和十七年)

蒙古學問寺(長尾雅人著 高桐書院 昭和二年三月)

A. Ferrari, Alfonso, *Mk'yen brtsé's Guide to the Holy Places of Central Tibet* (comp. & ed. by Luciano Petech & Hugh Richardson), Roma, IsMEO, 1958 (Serie Orientale Roma, XVI)

Yang, Ho-chin, *The annals of Kokonor* (Indiana Univ. Pr.,

Uralic Altaic Ser., Vol. 106, 1969)

チベットの文化(R・A・スタン著 山口瑞鳳・定方晟譯 岩波書店 昭和四十六年)

Ahmad, Zāhir 'ud-Dīn, *Sino-Tibetan Relations in the Seventeenth Century*, Roma, IsMEO, 1970 (Serie Orientale Roma, XL)

考古學論叢 第九號 昭和十三年十二月

史 林 第二五卷第四號 昭和十五年 十月

東洋史研究第五卷第五號 昭和十五年 八月

東洋史研究第六卷第三號 昭和十六年 五月

東洋史研究第六卷第三號 昭和十六年 五月

史 林 第二六卷第三號 昭和十六年 七月

東洋史研究第七卷第二・三號 昭和十七年 七月

東洋史研究第十卷第三卷 昭和二十三年 七月

東洋史研究第一九卷第二號 昭和三十五年 九月

號

東洋史研究第二九卷第一號 昭和四十五年 六月

號

史 林 第五五卷二號 昭和四十七年 三月

東洋史研究第三二卷第二號 昭和四十七年九月



# 雜 錄

朶甘に就いて

西藏における蒙古人

スンバケンボ全集の版本について

羽田先生の魅力

京都における青木先生の二人の弟子

木村肥佐生氏「チベット潛行十年」を讀みて思う

チベット語地名ブウシンクンについて

東洋史研究の歩みを語る（座談會）

青木師の名著復刊に寄せて

柏博士の歴史學への寄與について

祕境西域八年の潛行（西川二三著 芙蓉書房）序文

挨 拶

東洋史研究第五卷第五號 昭和十四年 八月

東洋史研究第十卷第二號 昭和二十三年 五月

東洋史研究第十卷第三號 昭和二十三年 七月

東洋史研究第十四卷第三號 昭和三十年十一月

號

日本西藏學會會報第四號 昭和三十三年 十月

日本西藏學會會報第五號 昭和二十二年 九月

東洋史研究第二三卷第二號 昭和三十三年 九月

號

東洋史研究第二六卷第一號 昭和四十二年 六月

號

青木文教著『西藏』序文 昭和四十四年 八月

（芙蓉書房 昭和四十四年）

『史觀をめぐる四十年』 昭和四十六年 三月

（農學原論研究會編 未

來社）

以 文 第十五號 昭和四十七年 十月  
昭和四十七年 十月

ある希望

京の祭に参加して

刊行の辭

### 講演要旨

明の朝廷に於ける西藏喇嘛教徒の問題

唐代吐蕃の内部構造

古代西藏史料について

「吐蕃」「羊同」の名稱について

### 辭典項目

世界歴史事典 于闐國記、甘珠爾 Bkah hgyur、ガンデン寺、ギャン

シ<sup>ヒ</sup> Rgyan tse 江孜、クンブム寺 Shu hbum、黃寺、シガツ<sup>エ</sup>

Shi ga tse 日喀則、シヤ<sup>ニ</sup>ナル Sabinar 沙畢那爾、ジャンジャ・

ノ<sup>ニ</sup>ター Lcañ syka hu thu ku tu 章嘉胡圖克圖、スロン・ツァ

ン・ガム・ボ<sup>ニ</sup> Sroñ btsan sgam po、ヤ<sup>ニ</sup>ラ寺 Se ra 色拉、タシル

ンボ寺 Bkra gis lhun po 札什倫布、チ<sup>ニ</sup>フシンダ<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>・フトクト

Rje btsun dam pa hu thug thu 哲<sup>ニ</sup>ト尊丹<sup>ニ</sup>、胡圖克圖、チスロン・

以 文 第十六號

仙臺一高同窓會報第25

號

史林六十卷記念總目錄序

文

昭和四八年 十月  
昭和五二年 二月  
昭和五二年十二月

史 林 第二四卷第二號

史學雜誌第五二編第七號

東洋史研究第十卷第三號

東洋史研究第三四卷第三

號

昭和十四年 四月  
昭和十六年 七月  
昭和二十三年 七月  
昭和五十年十二月

平 凡 社

昭和二六年四月  
昭和二九年三月

デシマン Khri sron lde brtsan 乞黎蘇籠獵贊、チベッター Tibet  
西藏、チベッター・インド條約 Convention between Great Britain  
and Tibet、チョーネ寺 Co ni 卓尼、唐蕃會盟碑、吐蕃、ヤング  
ズバンド、リッサ、ラブリン寺 Bla bran dgon pa 拉卜楞、ラ  
喇嘛教、喇嘛廟、レボン寺 Hbras spuns 別蚌、第二十三卷史料篇

東洋 第七篇 V チベッター

世界大百科辭典 シェプツンダンバ・フトクト、チソンデツェン  
Khri-sron lde-brtsan、チベッター・歴史、唐蕃會盟碑、吐蕃、ジ  
ンジャ・フトクト Lean skya hu thug thu

アジア歴史事典 青木文教、フテヤーシヤ Atisa、千闍國懸記 Li  
yin lün bstan pa 英藏條約、河口慧海、シッキム・チベッター條約、  
シムラ會議、ターナー Samuel Turner、チベッター Tibet 西藏、  
駐藏大臣、氏、唐蕃會盟碑、吐蕃、パクサム・シヨンスン Dpag-  
bsam ljon-bzan、パクモドゥ Phag-mo-gru、ラサン・カン Lha-  
bzai khan 拉藏汗

平

凡

社

昭和三十年十月、  
昭和三二年五月

平

凡

社

昭和三四年九月、  
昭和三七年四月